



『ひとつのことば・・・』

「今日から気持ちのいい五月です、元気に朝のあいさつをしましょう。おはようございます。」

(おはようございまあす。)

気持ちのいい朝です。新しい学年、新しい教室新しい友だちにもそろそろ慣れた頃だと思えます。

いつも、お話しているみんなのめあて、「げんきに」「なかよく」「たのしく」。

みなさん「元気」にすごせていますか。

みなさん「仲良く」すごせていますか。

楽しくすごせていますか。

病気やけがをせず、友だちとなかよく思いやりをもって、自分のやりたいことを見つけてできないことをできるように楽しく頑張る。皆さんできていますか。

さて、その中でも「なかよく」。

人を大切に、友だちとなかよくなるためにはということで、1回目の朝会では「あいさつは思いやり」という、一日の始まりに心を込めてあいさつすればみんなが仲良くなれてお友達もできそうですよ、というお話をしました。

2回目の朝会では、人と仲良くするための3つの約束、あぶないことはしない、人のいやがることはしない、ルールはまもる。一人一人の気持ちが人を大切にしみんがなかよくしていけるというお話をしました。

3回目の朝会では、やっぱり人となかよくする方法は、ということで、「いいとこさがし」というお話。人にはみんないいところとなおしたいところとがあるけれど、悪いところを見つけて怒っているのではなくて、みんなのいいところをさがしていくとみんな素敵な人ばかり、いつの間にか友だちたくさんできていますよ、というお話をしました。

今日はその4回目です、みなとなかよくする方法その4、「一つの言葉」という話をします。

なかよくしましよなかよくしましよ、とよく言います。なかよくするってどんなことなのでしょう。けんかをしないこと？ 人が困っていたら手伝ってあげること？

けんかをしても「なかよし」はたくさんいますよね。

手伝ってくれたからといって「なかよし」とは限りませんよね。

さて、ある学校の遠足での話です。今日のように暑い日で、山歩きでみんな疲れていました。そして、お腹もとってもすいていました。いよいよ、みんなが待ちに待ったお弁当の時間。

班のみんなが時間になったので集まって、力を合わせて準備して・・・後は「いただきます」をするばかり。みんなおなかがペコペコです。

時間になったので、先生の合図で、そろった班から「いただきます」をして食べはじめています。

ところが私の近くにいた班だけ、あと一人そろわないのでさっきからずっと待っています。もう、ほかの班はどの班も食べ始めています。

みんなお腹がすいて、だんだんに少し怒りだしたように見えます。

しばらくして、男の子が、一人遅れてきました。自分の場所に座ると、みんなを待たせたことに気づいたのか、あわてて、すまなそうにしています。

みんな怒ってるな・・・と、見ていると、班長さんの女の子が、まるで何もなかったように、ごく普通に『みんな待っていたんだよ。大丈夫？』

と、男の子を責めもせず、どうしたの、と気遣っています。すると、おくれた子も、「待たせてしまって、ごめんなさい。ちょっとおなかが痛くて遅れました・・・ごめんなさい。」

そして、そのあと、みんな笑顔に戻って、元気に「いただきます」をしました。

あとは、まるで何もなかったように、さも楽しそうに笑顔で食事を済ませました。

お互いを思う気持ちが、班長さんの言葉にあらわれ、みんなもそれを聞いて、お互いをいたわりあい優

しい気持ちになることができたのでしょう。

さてさて、一つの言葉というちょうど今の出来事にぴったりの先生の好きな詩を紹介します。

ひとつの言葉で けんかして ひとつの言葉で なかなかおり
ひとつの言葉で 笑いあい ひとつの言葉で 泣かされた
ひとつの言葉はそれぞれに ひとつの心をもっている
ひとつの言葉は 美しく ひとつの言葉を 大切に・・・・・・・・

班長さんがもしもこんなことを言っていたら、どうでしょう……。

『遅いなあ、何やってたのよ。さっさとしなさいよ、もう!』

そんな言い方をされてしまったら

きっと遅れてきた子も、ごめんなさいなんて言わずに、

『うるさいなあ、悪かったねえ。』

といて、仲良しどころか、悲しい食事に・・なってしまうそうですね。

ひとつの言葉、大切だな……。

桃五の皆さんのかける言葉は、どちらの言葉でしょう。

やさしい心で、ひとつの言葉を大切に、たくさんの人の心を温めて、なかよく なかよくできるといいですね。

お話終わります。

